

ケリー全米日米協会連合会理事長との懇談会を開催

開催日：2018年5月30日(水)

場所：経団連会館

来賓：ピーター・ケリー 全米日米協会連合会 理事長

経済広報センターでは2012年から、全米日米協会連合会と協力し、全米各地で「ビジネス・スピーカー・シリーズ」のシンポジウムを開催している。同シンポジウムでは、毎回、在米日系企業のビジネス戦略や地域経済への貢献などが紹介されるほか、TPP（環太平洋経済連携協定）など、日米関係の重要政策テーマに関する意見交換が行われており、これまでに34回開催されている。

5月30日、全米日米協会連合会のピーター・ケリー理事長の来日に合わせ、「ビジネス・スピーカー・シリーズ」への参加企業等との懇談会を開催した。

冒頭、ケリー氏から今年度の開催結果について、『エネルギー』『グローバリゼーション』『戦略的M&A』の3つのテーマをめぐり、三井物産、デンソー、味の素、住友商事、あいおいニッセイ同和損害保険の5社の幹部が、それぞれの州で講演し、上院議員や州政府の幹部、総領事、メディアなどの参加も得て、各企業のビジネス戦略や地元経済への貢献を深く理解してもらうことができた」と報告があった。参加企業からは、「自社の活動や貢献が地元のステークホルダーにあまり知られていないケースもあり、ビジネス・スピーカー・シリーズで講演の機会をいただき、よいアピールができた」といった発言があった。



ケリー氏は今後の計画について、「来年度も、参加企業を募りシンポジウムを開催する。日本企業の米国での貢献をしっかりと伝えたいのでぜひご協力をお願いしたい」と述べた。

以上